

# 田原市地域公共交通戦略計画改訂案のポイント

## ❁ 改訂内容（要点）

### 1 将来像の設定

○将来像は、現行計画の「だれもが安心して移動できるまち」を継承し、その実現のための取組姿勢を「協働で“つくり・守り・育てる”公共交通網」とします。

### 2 役割・関係性の明確化（改善方針1）

○公共交通ネットワーク全体の効率性・有益性等を向上させるため、役割・関係性を明確化し、競合・重複や運賃格差等の課題を解消します。

■渥美線・伊良湖本線等の幹線乗合交通を公共交通の基軸とし、その範囲外をぐるりんバス等のコミュニティ乗合交通、タクシー等の有償パーソナル交通、市街地循環バス・スクールバス等の政策交通が順次補完（分担・連携）しながら公共交通ネットワークを形成し、更に企業送迎・助け合い活動が補うことで市民等の移動を確保します。

■ぐるりんバス等のコミュニティ乗合交通は、幹線乗合交通との役割分担に従って運賃適正化・乗継環境整備等に取り組むことで、地域コミュニティ主体で自由な路線設定・改善等ができるようになります。

■田原市街地内のぐるりんバス路線の錯綜状況を改善するため、市街地循環バス（市街地活性化の政策交通）として運行するなど、幹線乗合交通等を補完・連携する形で、市の各部門で施策目的に応じた移動手段（スクールバス・巡回バス等）を確保します。

### 公共交通ネットワーク概念図



### 3 主体・取り組み方の明確化（改善方針2）

○市民・地域・事業者・行政等が協働し、運行内容や利用環境等の改善による利便性・有効性等の向上、公共交通による地域活性化を目指します。

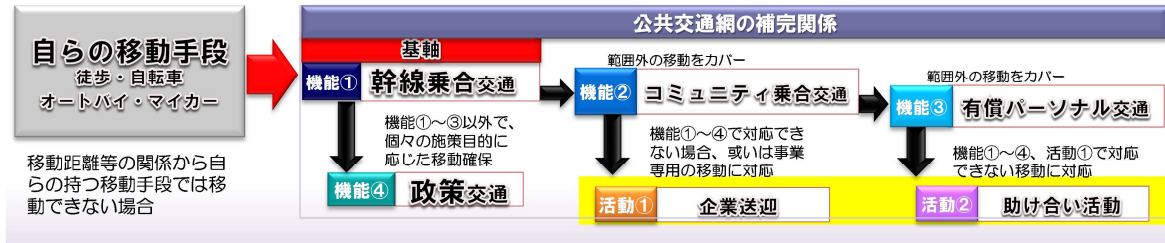
### 4 公共交通全体を改善する具体的な取組

○公共交通ネットワーク全体を改善するため、駅・バス停環境の改善、運行情報伝達の強化、地域等による利用促進活動の具体化等に取り組めます。

## 5 個別の公共交通を改善する具体的な取組

- 幹線乗合交通では、サービス水準の向上に取り組めます。
- コミュニティ乗合交通では、地域事情に応じた校区別路線運行・運行基準の明確化に取り組めます。
- 有償パーソナル交通では、利用特性に応じた利用しやすさの向上に取り組めます。
- 政策交通では、市街地循環バス路線新設等施策に応じた移動確保に取り組めます。
- 企業送迎や地域等の助け合い活動では、移動が確保される環境づくりに取り組めます。

### 公共交通の補完関係・役割分担の概要



## 戦略計画改訂について

### 1. 計画の意義・改訂の必要性

- 公共交通戦略計画は、市内公共交通の役割や整備方針を定めるものとして、市民、地域団体、民間交通事業者、関係行政機関などが協議したうえで策定される法定計画であり、民間路線バスの改善、コミュニティバスの運行などは、この方針に即して行われます。
- 平成20年に計画策定したあと、社会・経済情勢が著しく変化し、田原市総合計画改定、民間バス路線補助金増加、ぐるりんバス利用減少・収支悪化、交通拠点「三河田原駅」の整備完了等があり、改善等取組も停滞していることから、計画内容の見直しが必要となりました。

### 2. 公共交通の現状・課題（要点）

- 市内全域に鉄道・路線バス・ぐるりんバス等の公共交通ネットワークが形成され、各市街地と集落部の移動が確保されていますが、世帯の5割で3台以上の車を持つ著しいマイカー社会であり、公共交通の利用者が減少し、全般的に事業収支が悪化しています。
- 今後、運行頻度の低下や路線廃止となる危険性があること、民間路線バスとぐるりんバスの競合・運賃格差などの公共交通のなかでの問題があり、本市が市街地と集落部の役割に応じた都市形成を進めるなかでマイカー以外の移動が確保できなくなる恐れがあります。

(以上)